

東俣川観音沢渓谷

所在地	長野県諏訪郡下諏訪町東俣	種類	川
<写真>			
			
概要			
<p>一級河川砥川の源流で、八ヶ岳中信高原国定公園霧ヶ峰の北西に位置する八島高原（八島ヶ原湿原）から発し、東俣川へ下る渓谷を「観音沢」という。湿原の諏訪市側には鎌ヶ池があり、これが、観音沢本流の源流となっている。後に空木沢（うつぎざわ）と合流し、東俣川を形成している。</p> <p>また、観音沢は天然林として植生上貴重な地域でもあり、「うらじろもみ」が諏訪大社下社の御柱材となり、天下の大祭「御柱祭」に伐り出されている。</p>			
水質・水量			
周辺環境			
<p>うっそうとした樹林とそば立つ巨岩、澄みきった溪流が素晴らしい自然をみせてくれる。春はすがすがしい新緑の美しさ、夏は生い茂る広葉樹の瀬音、また秋は紺碧の空と清流に映える紅葉が訪れる人を魅了している。その景観は八島高原から下諏訪町大平まで約6 km、2時間の「観音沢ハイキングコース」にて楽しめる。</p>			
利用状況			
渓谷の各所からの豊富な湧水を集めて流れ、下諏訪町水資源の源を形成している。			

